

## 平成21年度第10回石狩市厚田区地域協議会

【日 時】 平成22年1月22日（金） 17:30 ～ 18:20

【場 所】 厚田支所 会議室6

【出席者】 菅原会長、佐藤副会長、大黒委員、小林委員、澤田委員、清水委員、福沢委員、松浦委員、盛重委員、吉田委員

（欠席～伊豆原委員、河合委員、谷委員、中井委員、畑中委員）

※正副会長を除き、あいさつお願

支所～澄川課長、成田課長、栗谷主査

事務局～尾山課長、高田主査、植木主任

【傍聴者】 0名

【次 第】 1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議題

（1）地域振興事業の取り組みについて

・「地域づくり基金」の使途見直しについて

4. その他

（1）過疎計画の策定について

（2）発足有償一般混乗スクールバスの運営状況等について

（3）次回会議の日程等について

5. 閉会

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議題

（1）地域振興事業の取り組みについて

・「地域づくり基金」の使途見直しについて

地域づくり基金の活用に関し、使途の追加及び補助率の引き上げが検討されていることから、その内容等について尾山課長が説明し、その説明をもとに議論していただいた。

○菅原会長：ただ今の説明について何か質問があればお受けしたい。

○吉田委員：例えば、漁業で言えば朝市の建物、農業で言えば農産物の直売所などの建設にも基金が使えるようになるのか。

○尾山課長：取り組みの手法によっては4分の3の基金活用も十分可能であると考えます。

○菅原会長：資料には「継続事業を除く」と書かれているが、どういうことを想定しているのか。

○尾山課長：簡潔に言うと今現在、手をつけている事業ということ。例えば厚田では体育振興事業などがそれにあたる。既に始まっている事業を、平成22年度の対象事業とするかしないかという話である。

- 高田主査：基金の活用は、住民だけでは事業を進めることができない手助けとして、3年間何とか補助しようというものである。厚田支所事務局サイドとしては、補助率が上がる上がらないに関わらず、目的をしっかりと全体計画を立案、地域振興に結びつくものでなければ認められない。実働部隊は地域の人たちだけであり、補助率が変わろうが考え方は今までとまったく変わりはない。
- 盛重委員：協働を前提とする事業、前提としない事業の色分けはどのように決めているのか。どうもその辺りのイメージが沸かない。
- 尾山課長：今までは経過措置事業と地域協働推進事業があり、経過措置事業は、旧厚田村時代に行われるはずであった事業を指し、地域協働推進事業は地域住民が核となっている事業を指す。協働を前提しないという事業は漁業や農業が想定され、地域振興が図られれば住民との協働でなくても採用可能ということ。
- 清水委員：一次産業のみならず、観光関連について言えば、地域の関係者が自発的に動いていなくても厚田全体の観光振興に使えるということか。
- 尾山課長：市として対策を立てなくてはならない事業であれば、清水委員の今のお話の内容も基金活用が可能と考える。例として、観光案内所を更に大きくするという目的で建築費用を充当するなどのことが挙げられる。
- 高田主査：来月には具体的に案が固まるので、その時に改めて案を提示させていただく。
- 菅原会長：これから具体案が固まるが、考え方についてはこの場で示されたということでこの件は終了する。

#### 4. その他

##### (1) 過疎計画の策定について

尾山課長が過疎計画の策定について説明。

- 吉田委員：過疎債の活用は、旧厚田村時代から何十年も続いているものだが、今までのメニューに新たなメニューを加えるということなのか。
- 尾山課長：新たなメニューを加えるということ。地域医療に関する内容も利用可能のようだが、詳細はまだこれからである。2月、3月に叩き台をしっかりと作り、地域協議会に提示した上で意見をいただきながら最終版を作っていくたい。

##### (2) 発足有償一般混乗スクールバスの運営状況等について

尾山課長が発足線の一般混乗スクールバスの運営状況等について説明し、次に高田主査がその詳細を説明。

- 菅原会長：土日と祝日は休みとなっているのか。また、過疎バスの時代はどうであったか。
- 澤田委員：土日祝が休み。過疎バス時代は、日曜と祝日のみ休みであった。
- 尾山課長：また、年末年始も休みである。
- 高田主査：スクールバスなので、授業などがある日は必ず走っているので、第2便以外での時間帯の利用もあり、また、予約の利用もあることから、大きくはないが収益につながっている。
- 尾山課長：資料を見て平成19年度と平成20年度を比較すると、回数券の売り上げ減がそのまま総売り上げに影響しているのが分かる。
- 清水委員：回数券が売り上げ減となった理由は何か。
- 尾山課長：厚田区外への引越しや職場が変わったことにより、回数券を必要としなくなったということ。
- 菅原会長：質問等がなければ、これにて終了とする。

### (3) 次回会議の日程等について

・吉田委員から、2月13日、14日開催のウインターレク・寒中屋台村についての説明有り。

・次回地域協議会

平成22年2月25日(木) 18:30 ~ 望来コミュニティセンター みなくる

### 5. 閉会

平成22年2月25日議事録確定

石狩市厚田区地域協議会

会長 菅原 道夫